

# 川根本町 図書館だより

9月  
2022年9月号

- ・文化会館図書室(小長井)
  - ・山村開発センター図書室(上長尾)
  - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)  
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

☆ 開室時間:午前9時~午後5時

☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(18日)・祝日の翌日(20日・24日)

☆ やまびこ号巡回コースは



川根フォン、町のホームページでご確認いただけます。  
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

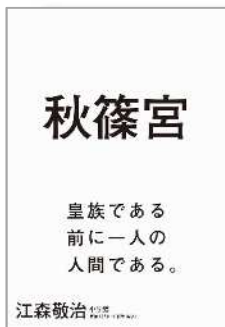
## 新 着 図 書

### 『秋篠宮』

江森敬治 著 小学館

人間・秋篠宮の心奥に迫る

【伝記】文



秋篠宮の生い立ちから結婚生活、長女の結婚問題に揺れる父親としての苦悩、前天皇の退位についての思いや皇嗣となった今の心境までをその肉声とともに紹介する。2017年から5年間の取材内容をまとめたもの。

### 『ロシア点描 まちかどから見るプーチン帝国の素顔』

小泉悠 著 PHP研究所

ロシアという国は何か

【社会】山



ロシア人とはいかなる人々で、ロシアではどんな生活が営まれているのか。なぜ西側の世界と相容れないのか。住まい、街並み、地下空間、食生活、国際関係などをテーマに具体的に解説する。プーチン権力の行方も論じる。

### 『「前向きに生きる」ことに疲れたら読む本』

南直哉 著 アスコム

心の荷物をおろす

【心理】文

生きる意味なんて見つけなくていい  
「人脈も友だちも要らない」  
「置かれた場所で咲けなくていい」  
長年にわたり、人の悩みやつらさと向き合ってきた禅僧である著者が、うまいかない現実・自分を受け入れ、どう生きていくかという、まったく別の視点からのリアルなメッセージを伝える。



### 『「風の時代」開運の上昇気流に乗る方法』

島田秀平 著 青春出版社

「200年ぶりの大変化」を味方につける!

【自己啓発】山

「1日1つ新しいことをする」  
「組織ではなく個で勝負する」  
「お金は貯めるよりも回す」  
「開運案内人」島田秀平が、2020年にはじまった「風の時代」ならではの運の引き寄せ方を伝授する。



## NEW CD



『総合』  
東京事変

山



『おいしいパスタがあると聞いて』  
あいみよん

山



『ベスト・オブ・ボンド』  
作者多数

文

# ◎ 新着図書

新刊の詳しい情報は、  
【川根本町図書ネット】で検索

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
<p>● 『私と街たち』 吉本ばなな 著 河出書房新社</p> <p>街に自分だけの歴史が積み重なり、深い色になっていく。子どもの頃に遊んだ街、父の死を見送った道…。東京の「街」から時代を描き出す、吉本ばななの自伝的エッセイ集。</p> <p style="text-align: right;">エッセイ</p>	<p>● 『鯉姫婚姻譚』 藍銅ツバメ 著 新潮社</p> <p>若隠居した大店の跡取り息子・孫一郎は、人魚のおたつに求婚されてしまう。生きる理の違う美しき人魚と、半人前な青年が築く愛と幸せの形を描く。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>
<p>● 『セカンドチャンス』 篠田節子 著 講談社</p> <p>長い介護の末、母親を見送った麻里、51歳。婚期も逃し、この先は坂を下っていただけと思っていた。そんなある日、親友のひと言で一念発起した麻里は、水泳教室に通いはじめ。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>	<p>● 『恋ふらむ鳥は』 澤田瞳子 著 毎日新聞出版</p> <p>時は7世紀。額田王は子まで成した大海人王子と別れ、葛城王子の仕切る宮城で勤めに邁進する。誰かの妻や母としてではなく、一人の人間として、歌詠みとして生きる道を模索するが…。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>
<p>● 『道』 白石一文 著 小学館</p> <p>娘の交通事故死。自殺未遂の隘路から抜け出せない妻。あれを試すしかないのか？ 高校時代に目にした絵の前に40年ぶりに立った男は、気付けば娘の交通事故が起こる直前の交差点にいて…。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>	<p>● 『オリーブの実るころ』 中島京子 著 講談社</p> <p>斜向かいに越してきた老人には、品のいい佇まいからは想像もできない、愛した人を巡る壮絶な過去があつて…。表題作をはじめ、結婚と家族と、真実の愛をめぐる劇的で不思議な6つの物語を収録。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>
<p>● 『残された人が編む物語』 桂望実 著 祥伝社</p> <p>行方不明者捜索協会を訪れる依頼人と、そこで働く西山静香。足取りを追って見えてきた、失踪人たちの秘められた人生とは。喪失を抱えて立ちすくむ人々が、あらたな一歩を踏み出す連作集。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>	<p>● 『わたしたち』 落合恵子 著 河出書房新社</p> <p>希美学園で中・高を共に過ごした「わたしたち」。少女たちは友情を紡ぎながら、それぞれの「わたし」を生き抜いていく…。4人の女たちの1958～2021年を描く。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>
<p>● 『ばあばにえがおをとどけてあげる』 コーリン・アーヴェリス ぶん イザベル・フォラス エ 評論社</p> <p>ばあばを笑顔にしてあげようと、ファーンは「よろこび」を探しに出かけ…。「よろこび」の意味を教えてくれる、あたたかな物語。</p> <p style="text-align: right;">山</p>	<p>● 『111本の木』 リナ・シン 文 マリアヌ・フェラー 絵 光村教育図書</p> <p>上の娘を病気で亡くした村長さんは、村で女の子が生まれるたびに木を植えようと思ひ立ちます。しかし、村では女の子の誕生を祝う習慣がなく…。</p> <p style="text-align: right;">山</p>



## 『のぞいてごらん おとぎのせかい』



文化会館  
図書室所蔵

こんな絵本 見たことない！  
おとぎばなしの大図解！！

この本には シンデレラ、ヘンゼルとグレーテルなどの有名なおとぎばなしが登場します。図解イラストで、おとぎばなしにでてくるお城や家のなかがどうなっているのかがわかるのが1番の見どころです。絵だけ見て楽しんだり、さがし絵をして楽しんだり、おはなしを読んで楽しんだり、なんども楽しめる絵本です。



シンデレラ

ももたろう

